

Contents

❖ 「絆」の再構築に向けて：光本和臣	1
❖ 活動報告(7～8月)	2
❖ 産学連携研究・研究会助成**会員企業ニーズ募集	2
❖ 産学連携商品紹介	3
❖ 平成24年度「広島大学産学官連携推進研究協力会」総会開催報告	3
❖ これからの活動(イベント)情報	4
❖ コーディネーター紹介	4
❖ 編集後記	4



「絆」の再構築に向けて

公益財団法人ひろしま産業振興機構 副理事長 光本和臣



日上市に住んでいる長男と連絡がつかず右往左往したのがつい先日のことのように思い出されます。東北地方を襲った大地震からはや1年あまりが経過しました。

この間、日本のサプライ・チェーンが想像する以上の深度でつながりあっていることを知り、日本のものづくり基盤の広さ、深さを改めて認識するとともに、いわゆる六重苦の中でこれからの日本のものづくりはどうなってしまうのか、一抹の(?)不安を感じているのは私だけではないと思います。

そのような中でひろしま産業振興機構では、新たな製品開発などを目指している企業の皆様方とともに県内大学の研究室訪問などにより、大学のシーズと企業のニーズとのマッチングを図る地道な取組みを進めております。

また、新たな取組みとして、広島県が重点的に取り組んでおられる「次世代産業の育成」の一環として、当財団の中に医工連携推進を担当する組織を設置しました。

大学はもとより医療現場や企業の皆様方のもとを訪問させていただき、ニーズ・シーズの掘り起こしを積極的に進めているところです。

いずれも新たなつながりの構築を目指した取組みですが、参加いただいた皆様方の評価からは確かな手ごたえを感じています。

「新たな産業クラスターの形成を目指す」と言うのは簡単ですが、実現に向けては血のにじむような努力と時間が必要だと思えます。

しかし、関係企業の皆様方のイノベーションへの意欲には目を見張るものがあり、下支えする我々は身の引き締まる思いがします。

イノベーションにはつながりが不可欠です。実現に向け、これまでの絆を核に新たな絆を構築していきたいと考えています。

皆様方のご協力を心からお願いいたします。



Report 1 若手イノベーション研修開催報告

第13回(8月6日)の講師は、産学・地域連携センターの橋本律男教授。「エネルギー変換技術の進歩と地球環境(I)」と題して、22名の受講者の下、産業革命以降の熱機関についての発明と理論構築の歴史を振り返り、今後の地球環境問題に対処するうえで重要な指標となるエントロピーについて、具体的な事例との対応において理解を深めました。次回は、今後の燃料問題や地球環境問題への対応のなかで、取り組むべき方向性について考える講義となっておりますので、奮ってのご参加を宜しく申し上げます。

(文責：沖井 文孝)



Report 2 第5回技術・研究紹介と交流のゆうべ 開催報告

平成24年6月25日(月)17:30より、コラボスクエア(東広島市)にて「第5回技術・研究紹介と交流のゆうべ」を開催致しました。

地元中小企業の皆様に大学の普段の活動をご紹介することを目的に開催する本会ですが、今回は「再生可能エネルギーの大量導入とスマートグリッド技術—近年の研究課題について—」というテーマで、工学研究院 システムサイバネティクス専攻 電力・エネルギー工学研究室の餘利野直人教授に講演をして頂き、その後餘利野先生も交えての交流会を行いました。

23名の参加者の皆様には、第一部は電力・エネルギー工学のご紹介を熱心にご清聴頂き、また第二部では非常に活発な交流を行って頂きました。

今後も皆様のお役に立てるよう、有意義なプログラムを企画して参りたいと思います。

(文責：沖井 文孝)



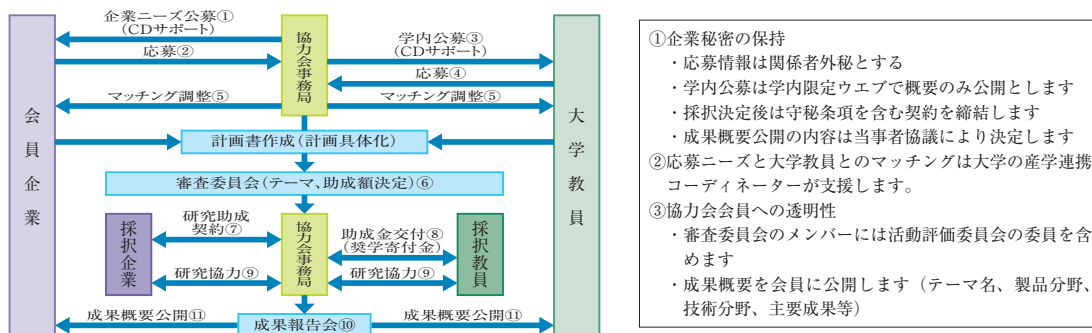
産学連携研究・研究会助成** 会員企業ニーズ募集

— ふるってご応募ください。 —

助成内容 1件あたり30万円、年間10件を上限として助成を行います。助成金は広島大学の研究代表者に交付し、研究あるいは研究会活動に活用されます。

応募条件 会員企業からのニーズに基づき広島大学の教職員が研究を行う、あるいは会員企業と研究会活動を行うものであり、1年以内の期間で、一定のまとまりを有する成果が期待されること

研究助成全体の流れ



会員企業ニーズ募集

- ・募集期間：随時受け付けます。(計画案件採択後締め切り)
- ・応募書類：所定の申請書に必要事項を記入の上、提出ください。
- ・申請書はこちら→ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/14/kyouryoku/jyoseimou.pdf>

審査及び採択

- ・学内教員とのマッチングが成立後、書類審査により助成対象を選定します。なお、場合によっては、面接(申請者によるプレゼン)等をお願いする場合があります。

応募書類提出先 広島大学 社会連携グループ 総務担当 松田
TEL: 082-424-4497 FAX: 082-424-6189
E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

本事業内容お問合せ 広島大学 産学・地域連携センター国際・産学連携部門
TEL: 082-424-4302(代)

このページでは、企業と広島大学との共同研究の結果、商品化につながったものを紹介して参ります。

産学連携商品紹介

ウルトラアペックスミル ナノ分散装置

寿工業(株)は1995年に世界初のナノ粒子分散装置を開発、ナノ分散には不可欠な装置となり、液晶テレビのカラーフィルターの顔料分散などで威力を発揮し、海外を含め、多くの企業、研究所、大学に納入しています。2000年から広島大学奥山喜久夫教授にナノ分散原理、西部工業技術センターから電子顕微鏡分析の協力をいただき性能アップに貢献していただいています。

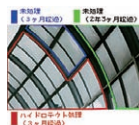


UAM5

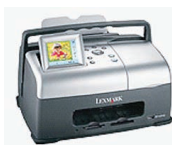
・用途



有機顔料（液晶顔料）
発色性、透明化、コントラストアップ
ITO（導電性塗料）
反射防、帯電防止 20～30nm



酸化チタン（光触媒）
透明化、活性化
10～30nm



有機顔料（インクジェット顔料）
30～80nm
発色性、耐候性



酸化亜鉛、酸化チタン
（紫外線遮断剤）透明化
：10～20nm



チタン酸バリウム（積層コンデンサー）
20～200nm 小型化
金属ペースト（Ag,Pd,Cu,Ni）
0.2～1μm 燐化せず粒子状態で分散



商品情報

第3回ものづくり日本大賞経済産業大臣賞受賞
1996年7月発売
売上累計400台（内海外70台 韓国、台湾、USA）



関係機関・研究者

広島大学（奥山喜久夫教授）、広島県立総合技術研究所西部工業技術センター（田辺栄司研究員）、(財)ちゅうごく産業創造センター、寿工業(株)、中国経済産業局



問い合わせ

寿工業(株) 化工機事業部
TEL：0823-73-1135 <http://www.kotobuki-ind.jp>

平成24年度「広島大学産学官連携推進研究協力会」総会開催報告

地域社会及び地域企業との連携強化を目的に、平成22年11月に設立された「広島大学産学官連携推進研究協力会」（以下、研究協力会）の平成24年度総会が平成24年8月1日、広島ガーデンパレスにて、委任状を含む過半数以上（会員数130：出席会員28、委任状提出49）の出席により開催されました。研究協力会規約により総会議長は研究協力会会長浅原利正学長が務められ、開会の挨拶後、議事に移りました。平成23年度事業実績及び決算、平成24年度事業計画及び予算案は、産学・地域連携センター橋本律男国際・産学連携部門長が報告し、原案通り満場一致で可決承認されました。また、平成24年度役員につきましては、任期途中で交代された活動評価委員長青山裕太氏（マツダ株式会社）の後任として農沢隆秀氏（マツダ株式会社）が選任・承認されました。澤 俊行産学・地域連携センター長の閉会の挨拶で総会を締めくくりました。平成24年度は、事業計画に沿ってより地域社会及び地域企業との連携を意識したより中身の濃い活動が求められることを肝に銘じ、活動を推進していかねばなりません。



平成24年度の研究協力会総会は、例年11月に開催しています新技術説明会と講演会のセットで開催しました。特に、会員以外の一般参加者も聴講可能な講演会は100名以上聴講し、非常に盛会でした。①公益財団法人大田区産業振興協会の活動紹介（公益財団法人大田区産業振興協会中山淳一氏）②産学官連携ベンチャーの未来～東京大田区の産業振興事例～（インパクトワールド株式会社 代表取締役社長林佑二氏）2つの講演で構成されましたが、地域連携、地域企業及び起業促進を進めている大田区の状況（産業支援、産学連携など）が良くわかりました。林社長の講演は、大田区産業振興協会の事例報告として行われ、起業は「理念が大事」という言葉や産学官連携の成功条件は、産と学官には壁があり、「3者を結び付けるXの存在が必須」だという言葉も非常に印象に残りました。

また、新技術説明会は例年以上の参加者があり、成功であったように思います。

（文責：高田 忠彦）

これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協力会の今後の活動予定をお知らせいたします。
ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

9月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第14回) 「エネルギー変換技術の進歩と地球環境 (II)」

日時 9月10日(月) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 産学・地域連携センター 橋本 律男 教授

10月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第14回) 「数値流体力学のすすめ」

日時 10月9日(月)

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 産学・地域連携センター 鬼頭 幸三 特命教授

2 リカレント講座「切削加工・工作機械の基礎講座」

日時 10月13日(土)・20日(土) 各10:00~16:00

場所 広島大学工学研究科 111講義室

費用 無料 (但し、テキスト代が必要な場合があります)

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/techrd/>

産学官連携推進研究協力会についての入会方法および活動情報の URL は
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/kyoryokukai/> をご参照ください。

❑ コーディネーター紹介 no.06

企業の皆様からのご相談に対応する、産学官連携コーディネーターを紹介致します。第六回は山田一徳氏。



山田 一徳 Kazurori Yamada

担当業務：技術相談、教員紹介、共同研究受入れ、
公的資金応募相談

技術分野：バイオ、機能性食品、水処理技術

職歴等：総合重機関連企業出身

TEL：082-257-5427

Email: kazuyama@hiroshima-u.ac.jp

ひとこと：

主に医療系テーマの産学連携を担当しています。一般の企業からは機能性食品や医療デバイスの開発に関する相談を、また製薬系の企業からは霞キャンパスの研究者との共同研究の相談を多く受けています。また、学内向けには大学発ベンチャーの起業や事業展開の相談もお受けいたします。

編集後記

この4月から5ヶ月で体重6kg増という快挙を成し遂げた私は、この夏の暑さを利用した夏バテによるダイエットを計画するも、夏バテにならずに食欲も落ちない有り様。そして、いよいよ食欲の秋に突入する羽目になりました。この秋は、体を動かして健康的にダイエットをしようと目標を持つものの、果たしてどうなることやら…

(文責：沖井 文孝)



発行：産学官連携推進研究協力会事務局 (広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内)

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL：082-424-5673/FAX：082-424-6189/E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先：広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL：082-424-4302/E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp